

労働組合の機能は労働大衆の産業別組織を以てする経済的闘争に存するか無産階級政党的の本質的機能は地
域的組織によつて被抑圧大衆を政治的闘争の分野に動員する点にある。

故に此の機能に適應する組織形態は各別箇の組織たるを要し、同時に両者の組織は緊密なる連絡の存
續するを要する。即ち各組合各組合聯合各組合支部等々の組織は同時に党の支部、支部聯合會の組織とする

ことは、両者の機能上の混同を来すに故に極力之を避けるると同時に之等別箇の組織は、組合政治部により
て連絡されるべきもの、如上の方針よりして、現在の両者の諸事情を考慮し、可能なる範圍に於て次の
具體策をとらんとするものである。

第一、党と組合同盟政治部の關係 一 組合同盟政治部は本同盟の政治的意見を統一し、本同盟の支持する
党との密接なる關係を保つことを任務とする。 組合及支部政治部は之に準ずる。

第二、党及組合の役員關係 一 組合同盟本部役員は、党の執行部委員たることを得ず、
二 組合同盟政治部委員以外の役員は、党の兼責を兼任することを得ず、 三 組合同盟加盟
組合並支部は次の役員を党支部執行部員たらしめらるること。

- (A) 組合の場合、 組合長、 主席、 会計、 常任執行委員
- (B) 支部の場合、 支部長、 幹事長、 会計、

右決議す。

(二)

日本労働總同盟運動方針排撃の件

村上の改訂

(理 由)

日本紡織労働組合提出

現實主義とは何とや、と云ふ疑念が日に深まりつゝあつた。社会三衆党の出現に依りて、総同盟
幹部の現實主義は白日の下に曝露された。理論に於て實際に於て我等は総同盟幹部の運動方針を
今日まで排撃してきた。

然し茲に改めて本案を提出した理由は最近総同盟幹部が黙過すべからざる階級的裏切りを働いた
其の止むところを知らないからである。

一 國際労働會議に出席に際して鈴木文治氏以下彼等幹部が即船手議団に於て執りて總同盟
何と物語るか。

二 総同盟が協定したと云ふ団体交渉権は、製鋼労働組合に於て乃至は最近の大幡商會を以て
製作所に於てその協調の正体を遺憾なく曝露され居ることは左りか。

三 東京モスリン工場に於て、従業員を支持する二箇組合を、会社と連絡して解散せよ、総同盟の
用組合を空輸入せよと云ふ、ある態度を見よ。

四 前東合同中野醸造支部が飲ストライキを苦闘したる時に、彼等幹部が従業員への切實な
狂奔した事實は何と物語るか。